

## 都市計画道路 奈良西幹線

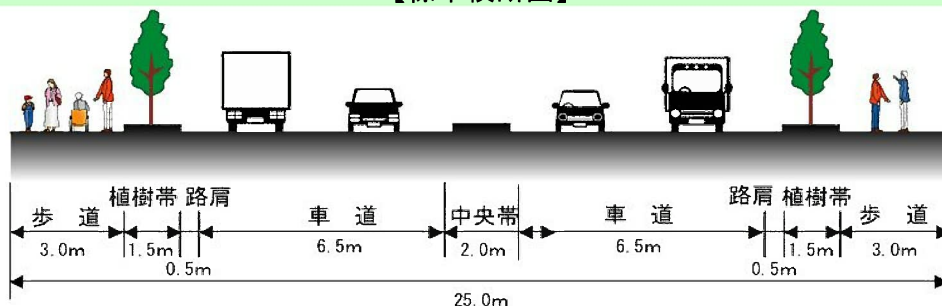
都市計画道路「3.3.2奈良西幹線」は、本町1丁目交差点から王寺町と香芝市の行政界まで至る王寺町を南北に縦断する道路で、奈良県が事業主体となって道路拡幅事業をH13年度から着手し、現在も事業中です。

この拡幅事業は、今までの国道168号が、道幅が狭くて交通渋滞がひどく、歩行するスペースも十分でなかったことから、「交通渋滞の緩和と歩行者の安全確保」を目的として取り組んでいる事業です。第1工区として事業を進めてきた、王寺町本町1丁目交差点から南へ620mの区間については、拡幅が完成しH21年8月に供用を開始しました。第2工区の1工区より南920m区間(畠田4丁目交差点まで)については、現在も奈良県が主体となって事業をすすめています。

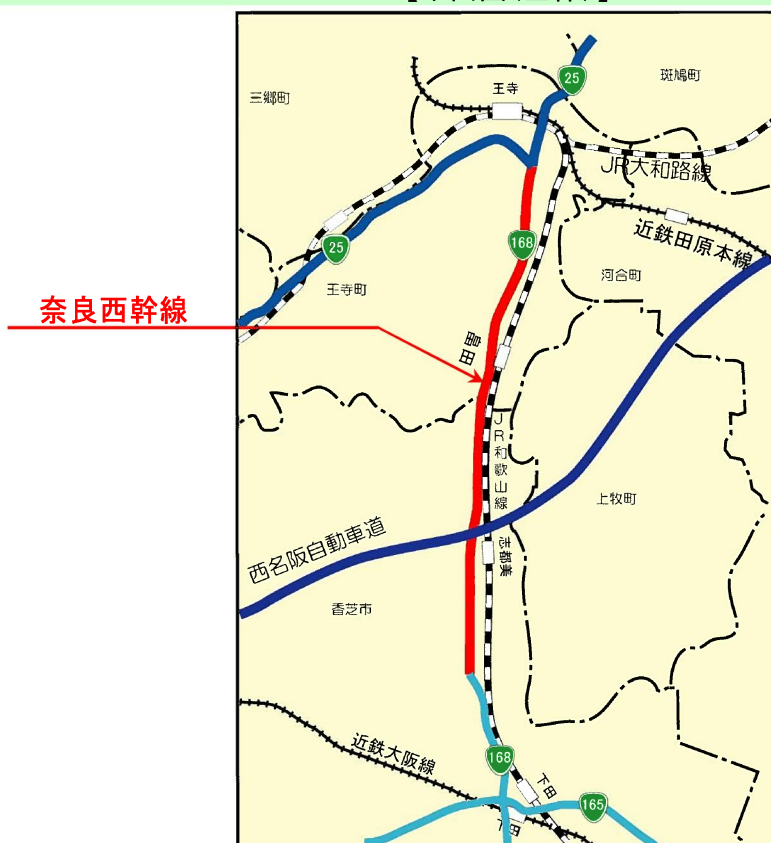
### <概要>

- 箇所：王寺町本町1丁目～畠田
- 延長：第1工区 L=620m(4車線) 第2工区 L=920m(4車線)  
第3工区以降は未定(H22年1月現在)
- 幅員：W=25.0m
- 縦断勾配：0.25%～1.60%
- 道路規格：第4種 第1級
- 供用日：第1工区 平成21年8月 第2工区以降は未定
- 概要図：下図参照

【標準横断面図】



【平面図(全体)】



# 都市計画道路 奈良西幹線

【平面図(1工区)】

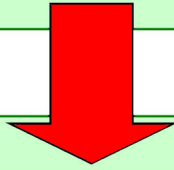


【平面図(2工区)】



## 奈良西幹線の昔と今

H15.8月



H21.8月

